

2026年度 事業計画

<概要版>

公益社団法人日本アイソトープ協会

はじめに

当協会は公益法人として、アイソトープ及び放射線の利用に係る普及啓発と技術の高度化を促進し、供給から廃棄まで一貫したアイソトープ事業の安定的な遂行を通じて、日本国内における学術及び技術の発展と国民生活の向上に貢献する。

当協会は2024年度から2026年度までの3カ年の中期経営計画において、①将来の事業展開を見据えた保有施設や業務体制の見直しと対応、②既存業務の強化とサービスの向上、③アイソトープ・放射線利用における人材育成の3点を重点項目としている。

2026年度は、これまでに抽出した中期事業課題の達成状況や外部環境の評価を行い、中期経営計画最終年度の施策を着実に実施すると共に、引き続き改正公益認定法のもとで公益法人としての社会的責任を果たし、事業の継続と発展に努めていく。

アイソトープ供給

アイソトープの安定供給

- 医学応用を目的とする短半減期アイソトープの安定供給に努める。
- 放射性試薬及び密封線源の安定供給に努める。
- 線源製造・輸送物運搬の一部を外部委託し、安全かつ効率的な供給体制を確保する。
- 大学等のRI施設活用に向けたプラットフォームの利用を推進する。
- 自然災害等の緊急時の供給継続・早期復旧のための体制整備を進める。
- 引取線源の保管管理と効果的な海外引渡しを実施する。
- アイソトープの輸送従事者を対象とした講習会を開催する。

アイソトープ・放射線の校正、技術開発・研究開発

- 信頼性の高い放射線・放射能標準を供給する。
- 国際MRA認定を取得する。
- 新たな標準線源等の開発、計測技術・製造技術に関する研究を推進する。
- 利用者に有益な情報発信を行う。

放射性医薬品

放射性医薬品原料の安定的確保に資する活動、放射性医薬品の安定供給

- 医薬品原料⁹⁹Mo等の供給に関する情報を収集し放射性医薬品原料の安定確保を支援する。
- 重要ラジオアイソトープの国内製造・安定供給のための取組推進に協力する。
- 放射性医薬品の安定的な供給を支援すると共に、医療機関に頒布情報を連絡する。
- 自然災害等の緊急時の供給継続・早期復旧のための体制整備を進める。
- 放射性医薬品受発注システム(RIOS-NET)の改修を行う。
- 放射性医薬品の輸送従事者向けの輸送講習会を開催する。

放射性医薬品利用の促進

- 新規放射性医薬品の情報を収集し、国内導入に向けた協力を行う。
- 新たな放射性薬剤の治験実施への放射線安全対策面での支援を行う。
- 核医学診療推進国民会議等の運営を支援する。
- 医療放射線の安全管理等に関する情報提供・相談対応を行う。
- 核医学診療等に関する一般向け講習会を行う。

RI廃棄物管理

RI廃棄物の集荷・貯蔵・処理

- 安全かつ効率的に集荷を実施する。
- 大規模施設解体に伴う集荷作業、管理下でないアイソトープ等について適切に対応する。
- 獣医療RI廃棄物の廃棄委託先の指定を受け、集荷を開始する。
- 安全かつ適切に貯蔵管理を行い、効率的に貯蔵施設を運営する。
- 技術的知見を活用し、安全かつ効率的に処理施設を運営する。
- 貯蔵・処理業務の一部を地元企業等へ委託し、年間貯蔵・処理計画を達成する。

医療RI廃棄物への取り組み

- 茅記念滝沢研究所における医療RI廃棄物の処理再開に向けて、合理的な施設・設備・体制等の準備を行う。

RI廃棄物の処分に向けた取り組み

- 処分実施主体との技術情報交換等、処分事業の推進に協力する。

調査研究・普及啓発

理工・ライフサイエンス部会

- 国内のアイソトープ製造や供給の実態調査の結果を公開する。
- 若手研究者向けの測定・安全管理等に関する学習動画コンテンツを作成する。
- 近未来産業のシーズとなる宇宙線等の計測技術に関する調査等を行う。
- 獣医療における合理的な規制確立、現状の課題解決、獣医核医学の認知度向上等の検討を行う。
- α 線放出核種の管理に関する最新動向の調査及び実務的な情報発信を行う。
- 日本アイソトープ協会シンポジウムの企画準備を行う。

調査研究・普及啓発

医学・薬学部会

- 核医学診療や放射線治療に携わる人材の育成及び利用の普及促進に向けた活動を行う。
- 放射性医薬品に係る安全管理や適正使用に係るマニュアルの策定を行う。
- アイソトープ内用療法講習会及び密封小線源治療講習会を開催する。
- 「PET検査件数に関するアンケート」、「放射性医薬品副作用・不良品事例調査」を実施し、結果を公表する。
- 全国核医学診療実態調査（5年毎）に向けた準備を進める。
- 国内外の核医学診療に関する最新データの調査及び新しい医療技術についての情報収集を行い、情報提供に努める。

調査研究・普及啓発

放射線安全取扱部会

- 年次大会（放射線管理研修会）を開催する。
- 教育訓練講習会の企画、英語版の教育訓練コンテンツの検討を行う。
- 支部研修会・見学会を開催する。
- Isotope News誌「主任者コーナー」編集、「主任者ニュース」発行等を行う。
- アイソトープ・放射線の安全取扱い技術や施設の維持管理等の知識や技能の伝承、各事業所における人材・施設等の問題点の共有化を行う。
- 関係官公庁に係る情報収集、意見交換を進め、必要に応じて提言を行う。

調査研究・普及啓発

■ アイソトープ・放射線研究発表会

- アイソトープ・放射線研究発表会を開催する。

■ 講習会開催

- 放射線取扱主任者講習、第1種作業環境測定士（放射性物質）講習、放射線取扱主任者定期講習等を開催する。
- 核医学診療に携わる看護師向け講習会を実施する。
- 放射線業務従事者や医療従事者のための教育訓練講習会の開催及び講師派遣を行う。
- 研修施設及び測定器の整備に取り組む。

■ 出版

- 会員向け広報誌Isotope News、学術論文誌RADIOISOTOPESを発行する。
- アイソトープ・放射線に関する図書の編集、発行、頒布を行う。

調査研究・普及啓発

試験研究等

- 国や関係機関が公募する委託調査研究等について、必要に応じて受託実施する。

表彰

- 以下の表彰を行う。

日本アイソトープ協会奨励賞

放射線安全管理功労・環境放射能対策功労表彰

アイソトープ・放射線研究発表会若手優秀講演賞

アイソトープ・放射線研究発表会ポスター賞

RADIOISOTOPES誌論文奨励賞

調査研究・普及啓発

その他の普及啓発活動

- アイソトープ・放射線利用及び核医学等に関する常設展示の公開を行う。
- Webサイト等を通じて情報提供を行う。
- 学校教育における放射線教育への支援活動を積極的に行う。
- 川崎市等が実施する科学イベントに参加する。

組織運営・特別事項

組織運営

- 改正公益認定法のもと、機関運営と情報公開を適切に実施する。
- 公益目的事業の実施に必要な人材確保と初期教育研修を行う。
- 定期的にメールマガジンを発行する。
- システム対策を行うと共に、セキュリティ体制の強化を行う。
- 安定的に運用可能な新基幹システムの開発を進める。

特別事項

- 旧放射線施設の解体工事を計画的に実行する。

財務運営

財務運営

- 新しい公益法人会計基準への移行準備を進める。
- 内外環境を見据えた財務管理を行い、組織目標を達成し、財務基盤の安定維持に努める。
- 廃棄物処理処分引当金の増額が見込まれるため、対応する財源の確保に努める。



公益社団法人

日本アイソトープ協会

Japan Radioisotope Association